

## 1 進む国際化への対応

### ■増加する外国人人口

#### ◎近年、本市の外国人人口が増加している。

- ・総人口の約1%を超えて伸び続けている。（右グラフ参照）
- ・外国人市民の定住が進み、既に多くの外国人市民が地域の一員となっている。
- ・今後も、九州大学の留学生や教員等の増加、外国人労働者雇用の拡大などにより、外国人市民の人口が増加することが予想される。

#### ◎国際化に伴う課題

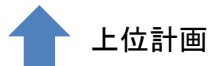
- ・国際化に向けた環境づくり
- ・多文化共生の意識づくり
- ・国際交流推進の体制づくり

⇒国籍や文化、生活習慣などの違いにかかわらず、互いを認め合い、自分の能力を生かして暮らせる心豊かな地域社会の実現に向けた取組が必要。

### ■市の方針、計画

#### 【糸島市第1次長期総合計画】

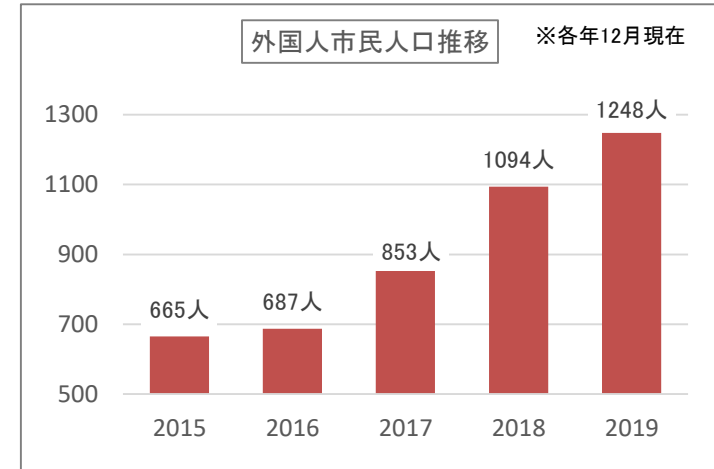
施策：「国際的な魅力あるまちづくりを推進する」



上位計画

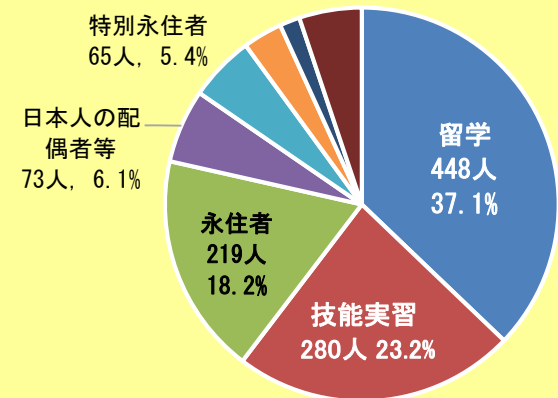
#### 【糸島市多文化共生推進計画】（現在策定中）

長期総合計画の施策に掲げる目標の実現に向けて、取組方針を体系的に示す



【資料：糸島市住民基本台帳】

#### 糸島市の在留資格別外国人数



【資料：糸島市住民基本台帳】

## 2 糸島市九州大学国際村構想

### ■九州大学で学ぶ留学生・教職員の増加

◎九州大学の統合移転が完了し、本市で学ぶ外国人留学生、研究者が増加する見込み。

※大学では、令和5年5月1日時点で3,600人の留学生在籍を目標としている。

#### 【課題】

- ・九州大学学生寄宿舍の不足
- ・留学生等が入居可能な民間アパート等の不足
- ・短期留学生等の滞在に適した滞在施設の不足
- ・生活利便施設の不足
- ・留学生等が安心して研究に取り組める環境の整備
- ・留学生等と市民との交流の促進

### ■「国際村」の創設に向けて

◎九州大学を中心とした地域の国際化に対応するため、キャンパス隣接地域に受け皿となる「国際村」を創設する。

#### ⇒「糸島市九州大学国際村構想」策定（H29.5）

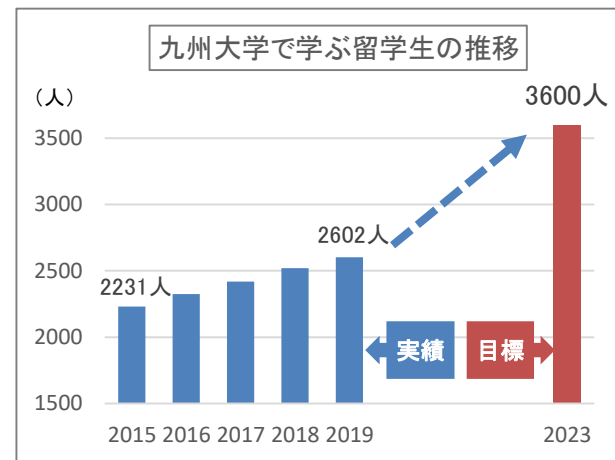
##### 【国際村構想に基づく主な施策】

- ・留学生等の住居及び滞在施設の整備促進
- ・留学生等が快適に暮らせる生活利便施設の整備促進
- ・留学生等の子どもが通うことのできる保育施設・学校等の充実
- ・留学生等と地元住民、企業等との交流機会の創出や交流施設の整備検討
- ・公共交通の機能強化などキャンパスまでのアクセスの向上

◎地域の国際化に向けた産学金官の連携

#### ⇒「地域の国際化に関する協定」（H29.5）

- ・協定を基礎として、糸島市、九州大学、セトル(株)、(株)西日本シティ銀行、(株)西日本フィナンシャルホールディングス、株式会社福岡銀行と連携した取組を展開。
- ・留学生等の住居や滞在施設の整備、生活支援のほか、地域との連携・交流促進、情報発信などを行う。



【資料：九州大学発表】

